

SHIRAKOBATO

しらこぼと



1989. 3

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO.58

日本野鳥の会 埼玉県支部

三室地区(浦和市) — 見沼田圃の花と鳥 —

はじめに

東京の中心部より北へわずか20キロ圏に広大な見沼田圃がある。今回はその中から、浦和市郊外にある三室地区を紹介しよう。

三室の探鳥会と支部の歴史

三室の鳥を語るのに、斜面林に立つ浦和市立郷土博物館と支部の歴史を忘れてはならないと思う。1984年5月20日に郷土博物館の後援を得て、三室地区の第1回探鳥会が開かれ、以後毎月第3日曜日に欠かさず探鳥会が開催されている。

本年4月は、支部の満5年の誕生日だが、三室の探鳥会も60回目を迎える。昨年、見沼代用水沿いに桜の並木が造られ、小さな花が咲いたが、今年の探鳥会は桜の花に囲まれた中で開かれることだろう。そうした探鳥会の風景は、支部の大きな発展を思わせるものだ。

三室の春夏秋冬

春 三室の春は、梅、桃、レンギョウやハクモクレンの花が咲き、ヒヨドリやメジロが蜜を吸うのに忙しい。

ヒバリが春を告げ、芝川で越冬したコガモや、畑のミミズをついばむツグミが、北へ帰る準備をしている。ユリカモメも帰る前の挨拶に夏羽の黒い頭で、三室の里にやってくる。そして、見沼田圃の桐の木が、紫の花を咲かせ、畑のサツキの苗木が花をつける前に冬鳥たちは北へ帰ってしまう。

冬鳥と入替わりに、アオアシシギやキアシシギが渡りの途中で芝川で休んでいく。



(黒田佳子)

5月の早朝、斜面林でカッコウが鳴く。カッコウは、休耕田のオオヨシキリの歌声に合わせて、斜面林から斜面林へ飛んで行く。セッカが、芝川のアシ原で“ヒッヒッ”と鳴くのもこの季節である。

夏 6月になって梅雨に入り、芝川の水も増え、見沼代用水にも水が満々と流れて、斜面林の緑を映し出す。一年中見沼田圃に姿を見せるカルガモの夫婦が、芝川や用水でひなを育て、かわいい列をつくって泳ぎ出す。ツバメが芝川の水面を低く飛び、郷土博物館のアジサイの花にカタツムリが這っている。コサギが雨を避け、橋の下で餌をあさっている。

梅雨が明けた。田圃のヒマワリにアシナガバチが止まり、赤いカンナにキアゲハが舞う。

夏の間、三室の鳥たちは居眠をしているようだ。しかし、よく見ると、芝川の乾いた干潟でハクセキレイやセグロセキレイが餌をつついていく。ハクセキレイの幼鳥が土の色に染りそうにアシの中に入って行く。

暑さの中、“チイッ”という鳴き声とともに、カワセミの翡翠の糸が川を縫って行く。アシの葉蔭からカイツブリが出てくる。昨年は、赤いおでこのバンも初登場した。

夏の探鳥は用水の流れを見ながら、斜面林の緑の下を歩くのがいいと思う。

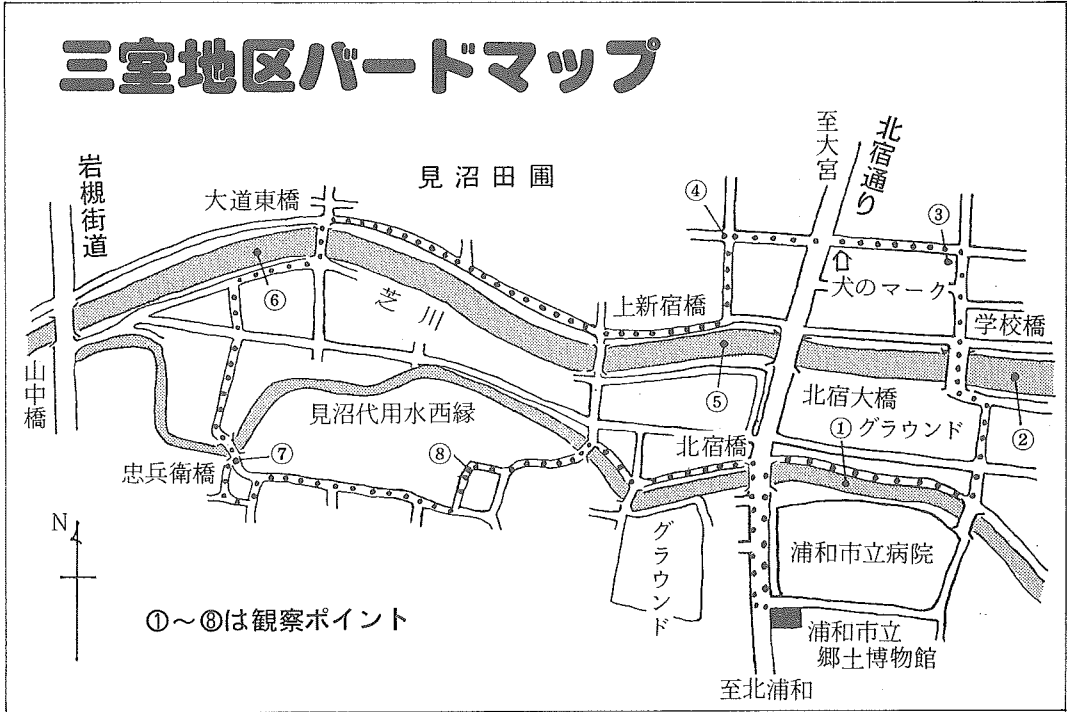
暑さの中で、ノカンゾウがダイダイ色の花を咲かせ、ヒルガオが用水の土手に這って、時には夕立が通り過ぎて行く。

見沼田圃の畑では、ナス、スイカ、カボチャ、トマト、トウモロコシ、夏野菜が実っている。そしてツバメに混じって、イワツバメも白い腰を見せて飛んで行く。

秋 秋は、芝川にコガモがやってくることで知られる。しかし、日中はまだまだ暑い。9月に入るとオナガガモ、ハシビロガモもやってくる。

サギ類は、チュウサギやダイサギがそろそろ冬羽になり始め、コサギも黄色の足で1羽1羽と水面にたたずみ、時にはアオサギも大

三室地区バードマップ



きな羽を芝川に休める。

やがてモズの高鳴きが聞こえ、ジョウビタキの紋付きが用水の金網の上に見えると、秋は次第に深まって行く。

10月の末になるとユリカモメが、東京湾から上ってくる。その頃チョウゲンボウが橋の欄干で野ネズミを食べているのを見ることもある。芝川のアシが茶色に染ると、タシギの姿が紋様の中に消えて行くのを知る。いつの間にかコガモやオナガガモがきれいな色に変っている。

冬 作物のなくなった田圃では、ツグミやムクドリが餌をついばんでいる。斜面林では、アオジの姿が見え、ウグイスの地鳴きが聞こえてくる。三室の里に初めての木枯しが吹き、又しばらく暖かい日が続く、暖かい日と寒い日が繰返されて、冬はやってくる。

1月は芝川にタゲリが新年の挨拶にやってくる。芝川に沿って、不忍池からカワウが飛んできて、探鳥地を見下ろしていく。雑木林ではカケスとオナガが、お互いの声をやかましいと言っている。コゲラがコツコツとコナラの木をたたき、シメがくちばしを高い木の上で鳴らしている。そしてアカハラやシロハラ

が、いつもの屋敷林で見られる頃になると、冬は真っ最中である。

1年が巡って、用水の土手にホトケノザやオオイヌノフグリが小さな花をつける頃、斜面林のクヌギやコナラの芽が吹き出し、春がやってくる。三室の春夏秋冬。鳥、花、木々と、自然は一年中美しい装いを見せてくれる。

最後に

三室地区は浦和市の郊外にあり、JR北浦和駅から市立病院行きのバスで約15分、終点で下車。バス停から少し戻った郷土博物館を基点とし、ゆっくり歩いて約3時間で博物館に戻る。初心者、ベテランとも楽しめる。

この地区は市街地に近いので、開発の波が大きく打ち寄せている。「見沼田圃の保全」については多くの意見があるが、後世にこのすばらしい環境を残すために、鳥を見るだけでなく、私たちがささやかであっても自分なりに自然保護の活動をしたいものだ。

(補見邦博)

<参考>

1. 探鳥会の出現鳥87種 (見沼田圃 180種)。
2. ふるさと歩道等、コースはいろいろある。
3. 見沼の歴史は郷土博物館で教えてくれる。

1988年秋

埼玉県のタカの渡り

日本野鳥の会埼玉県支部研究部

はじめに

1988年秋のタカの渡り調査は県内5ヶ所で実施された(表1)。本小論はその結果と考察を述べる。

天気によるサシバの渡りの数

5月下旬から9月下旬まで雨期を思わせる天気が続いた1988年夏は、10月に入って移動性高気圧がおおい、ようやく秋の天気となった。

本調査前日10月1日、9月30日までの雨がようやく止み、寄居で150羽の渡りが観察された。悪天候で足止めを食っていたサシバが一気に渡ったためと思われる。1987年10月4日の高指山の観察と同じ天候条件で、ほぼ同数の羽数である(埼玉県支部研究部 1988)。

本調査の10月2日、日本列島は気圧の谷におおわれた形となり、県内でも所により雨がぱらつく曇り空の1日であった。サシバはこの日、時々陽がさすときに発生するわずかの上昇気流を利用し、あるいは自力によるはばたきにより渡りを行なっている事が観察された。

サシバの渡りは移動性高気圧におおわれたときの上昇気流だけでなく、曇りの日、わず



「ドン」

(押川歳子)

ごめんなさいコーナー

1月号(No.56)5ページの表、「254 コウライウグイス……松戸」とあるのは、「杉戸」の間違いでした。訂正し、お詫びいたします。

表1 タカの渡り調査体制

調査種別	月/日	調査地	人数	天気
予備	9/23	寄居 鐘撞堂山	2	くもり
予備	10/1	寄居 鐘撞堂山	1	はれ
本調査	10/2	本庄 阪東大橋	2	くもり
		寄居 鐘撞堂山	2	くもり
		鳩山 物見山	13	くもり
		日高 白金平	3	くもり
		日高 高指山	6	くもり

表2 サシバの渡りの数

月/日	阪東大橋	鐘撞堂山	物見山	白金平	高指山
9/23	—	14	—	—	—
10/1	—	150	—	—	—
10/2	0	10	19	0	1

かの日射しにより発生する弱い上昇気流を利用し、あるいは自力によるはばたきにより渡っている事が本調査により確認された。

おわりに

1985年(未発表)、1986年(小荷田1986)、1987年(埼玉県支部研究部1988)、1988年と4年間に渡り埼玉県内におけるサシバの秋の渡り調査が実施されているが、ことしは曇りの日の動態について確認された。

タカの渡り調査に当り御協力をいただいた各位に対し謝意を表します。

(執筆 小荷田行男)

<文献>

小荷田行男 1986 1986年秋埼玉県のタカの渡り 第3回タカの渡りシンポジウム 予稿集 日本野鳥の会兵庫支部 神戸
埼玉県支部研究部 1988 1987年秋埼玉県のタカの渡り しらこぼと No.46 P.4
日本野鳥の会埼玉県支部 浦和



探鳥会の効能

高橋夕香子 (深谷市)

私の場合は、

1. 鳥との素敵な出会いがあります。
 2. 友達の輪が広がります。
 3. 健康によいと思えます。
 4. 遊びながら勉強が出来ます。
 5. それゆえ、鳥に詳しくなり、みんなに尊敬(?)されます。
 6. なぜか親に呆られます。
 7. なんととっても、フィールドスコープをただで見せてもらえます。
 8. 鳥病への第一歩です。
- なお、ちょっぴりの勇気が必要です。



(村上由香)



(押川歳子)

軽井沢でのいい思い

杉本秀樹 (杉並区)

初めて見る鳥が探鳥会で出たら一種類につき500円を支部に寄付する、と大見栄をきって今回で2度目の探鳥会。冬の軽井沢はしあわせの赤い鳥のメッカ。あれやこれや、いや黄色の鳥もなどと予想を立てると500円玉が6コは必要になる。しかし残念というべきか、ラッキーというべきか、シラガホオジロなどという、あまり聞かない鳥に出会ってしまった。それも1羽などとケチなもんじゃなくて、20羽ほどがホオジロ、カシラダカといっしょに田ンボに群れている。もう識別講座の実地篇のようだ。うんと堪能して鳥合わせのあと、参加費入れの缶の中に500円玉を入れたら、カッチャンといつもとは違う音がした。

またもや 総務部からのお知らせ

会費の自動引き落とし制度をごぞんじですか。何とか時間を作って、わざわざ郵便局まで行って、振替用紙にいろいろ書いて、窓口にならんで、書き方まちがって赤くなったり、後ろにならんでいる人ににらまれたり、そんなことから解放してくれるのが、この自動引き落としです。

会費更新月に、あなたの口座から自動的に会費が会のほうに振り込まれます。まったく手間がかからず、きれいで、たいへんおいしくできあがってます。しかも、会費額以上に引き落とすことはズエタイにありません。どうぞお試しください。

銀行・信用金庫・労働金庫・郵便局など、ほとんどあらゆる金融機関の口座でご利用いただけます。

現在この制度を利用している人は10数パーセントにすぎません。はっきり言って、会のほうもたいへん助かる制度です。会費更新のお願いや受け入れ事務処理が大幅に軽減されます。あなたの便利のためだけではなく、しょうがないな、野鳥の会のためだ、もうちょい協力してやるか、なんて思っていただけるとありがたいのですが。

会員のおてもとにはその手続きに必要な書類は届いているはずですが、もしなくなっちゃっていたら、03-406-7289(本部総務部)の会員係、猪沢則子さんに響してください。猪沢さんの声を聞きたいだけの人もどうぞ♥

(残念ながら、ジュニア会員はこの制度を使えません。)

あまの鳥情報

カワウ ◇12月20日、浦和市秋ヶ瀬の荒川で1羽(宮寺 充)。◇12月31日午前11時、本庄市の阪東大橋下流で約400羽。ものすごい食欲で魚を食べあさり、東方へと飛び去る(町田好一郎)。◇1月9日、浦和市見沼の芝川上空で11羽。北に飛んで行く(大武昭雄)。

ゴイサギ ◇1月20日、浦和市の見沼代用水東縁、五斗蒔橋下流付近の排水路で幼鳥1羽。黄色い足と白い紋の様な模様が印象的でした。あまりに間近で出会ったので、お互いにギョッと、しばし見合ってしまった(大武昭雄)。

ダイサギ ◇12月19日、浦和市の芝川、霞野新橋下流で1羽(大武昭雄)。◇12月20日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森の白鳥の池で1羽。同じく別の池でも1羽(宮寺 充)。

アオサギ ◇12月20日、浦和市秋ヶ瀬の大久保農耕地上空で1羽(宮寺 充)。

オシドリ ◇12月29日午前9時30分、本庄市の阪東大橋下流で♂♀各1羽。うらやましいぐらいピツパリ寄り添って流れを下って行った(町田好一郎)。

トモエガモ ◇12月18日午前10時30分、本庄市の阪東大橋下流で12羽。いろんなカモたちに取り囲まれて「フクザツ」な顔をしていた(町田好一郎)。◇12月24日午前10時、狭山湖で♂3羽♀4羽(三田長久)。

ヨシガモ ◇12月4日、越谷市の古利根川で♂2羽♀1羽(山部直喜他)。

アメリカヒドリ ◇12月4日、越谷市の古利根川で♂1羽(山部直喜他)。

ホオジロガモ ◇1月2日午前11時、狭山湖で♂2羽(三田長久)。

ミコアイサ ◇12月24日、狭山湖で♂2羽(三田長久)。◇12月30日午前11時、本庄市の阪東大橋下流で♂1羽。カモたちの群れから少し離れて、チョッピー気取って泳いでいた(町田好一郎)。

オオタカ ◇12月7日、戸田市の戸田橋付近の荒川河川敷で若鳥1羽(高橋達也)。

ノスリ ◇1月22日、浦和市秋ヶ瀬B区で1羽(石井 智)。

ハヤブサ ◇12月13日、戸田市の戸田橋付近の荒川河川敷で1羽(高橋達也)。

チョウゲンボウ ◇12月27日、戸田市の戸田橋付近の荒川河川敷で♂1羽(高橋達也)。

シロチドリ ◇1月11日、戸田市道満で41羽。タゲリ39羽、ハマシギ52羽と越冬中(高橋達也)。

タゲリ ◇12月31日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森のラジコン池で1羽(福井 亘)。

クサシギ ◇12月31日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森のラジコン池で1羽(福井 亘)。◇1月11日、戸田市道満で2羽(高橋達也)。

セグロカモメ ◇12月4日、越谷市の古利根川で1羽(山部直喜他)。◇12月25日、戸田市の荒川で4羽(高橋達也)。

ウミネコ ◇12月10日、戸田市の荒川で1羽(高橋達也)。

カワセミ ◇12月20日、浦和市秋ヶ瀬のピクニックの森の白鳥の池で1羽(宮寺 充)。

アオゲラ ◇1月1日午前9時、狭山市の自宅付近で1羽(三田長久)。◇1月29日、深谷市の仙元公園で♀1羽(高橋夕香子)。

ハマヒバリ ◇12月11日、吉川町飯島の江戸川河川敷で♂1羽(12月23日付、読売新聞)。

トラツグミ ◇12月31日、浦和市秋ヶ瀬の子供の森で1羽(福井 亘)。

アカハラ ◇12月31日、浦和市秋ヶ瀬の子供の森で3羽(福井 亘)。

シロハラ ◇12月31日、浦和市秋ヶ瀬の子供の森で2羽(福井 亘)。◇1月22日、浦和市秋ヶ瀬C区で1羽(石井 智)。

キクイタダキ ◇1月29日、深谷市の仙元山公園で5羽(高橋夕香子)。

ホオアカ ◇12月8日、戸田市の戸田橋付近の荒川河川敷で1羽(高橋達也)。

スズメ(部分白化) ◇12月30日、浦和市の白幡沼で首から上がすっぽりとズキンをかぶったように白い個体が数羽の群れと共に1羽(海老原美夫)。

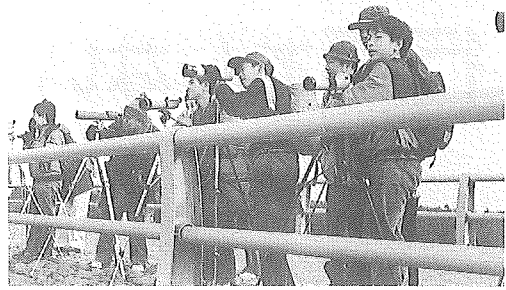
【3月のみどころ】

今年の冬は昨年以上の記録的な暖冬でした。そのせいか、動物の世界も植物の世界もちょっとした異変がおこっていたようですが、こちらの感覚もおかしくなっちゃいそうですね。でも本当の意味での春はこれからですね。ウグイスやホオジロ、メジロなど春を告げる鳥達はそちらこちらでさえずり、シラコバトも「ポポー」と大きな声で鳴いています。近年、シラコバトは各地に進出してきており、皆さんの家の周囲でも見られるかもしれません。また、田圃では、ヒバリが空高く舞い上り、キジの声もこだましているでしょう。もし、家の周りでカナリアのようなヒバリのよう聞きなれないけれど、きれいなさえずりが聞えてきたら、アンテナの上とか電線の上など、目立つ所を探してみてください。モズかもしれません。運が良ければ、何とも奇妙でユーモラスなモズの求愛動作を見ることができます。あの小さな猛禽ともいわれる姿から想像できないようなおかしさです。

3月は本州以南に滞在していたワシ達（オオワシ、オジロワシ）の北帰行の季節にもなります。県内でも彼らの姿が見られる可能性があります。実際、1986年3月21日に、日高



表紙の写真



町の中着田でオジロワシ1羽が記録されています（しらこぼと'86年5月号）。この日は、同地でミサゴや複数のオオタカなども現れて見ていた人達は大騒ぎだったそうです。又時期は不明ですが狭山湖でも記録があるようです。但し本州以南に飛来するワシの仲間は、幼鳥タイプが多いようですから注意が必要かと思えます。晴れた日の午前中、前述のような開けた場所で、他の鳥を見るついでに探してみてください。現われる時は、突然という感じで出現しますので、時々空を見上げることをおすすめします。運が良ければ、トビやカラスからは想像もできないような巨大な翼をもったワシの姿に接することができるかもしれません。これは、ちょっとした未知との遭遇ですよ。三陸で長年ワシの写真を撮り続けている鳥友のSさんによると本州以南に南下するワシの数は北海道の寒さと関係があるのではないかといいます。曰く、北海道の寒さが厳しくて、こちらが暖い年は、南下する数が増えるのではないかと。その説からすると今年はどうでしょうか。南下している個体数が多いほど、こちらで見られる確率が高くなるわけですが…。いづれにしても、こういう鳥をいつまでも見られるようにしたいという自然保護の原点みたいなものを感じさせてくれる鳥だと思えます。（藤原寛治）

バードフォトコンテスト入選作

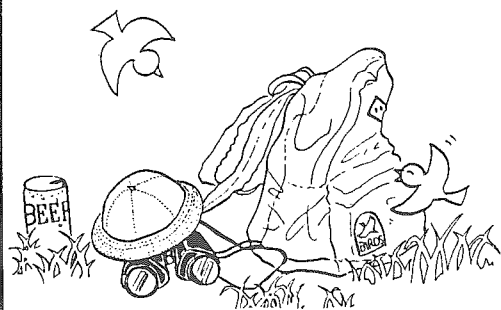
ビンズイ（セキレイ科）

ビンズイとタヒバリ。図鑑でもほとんど同じ。少しばかりの色調の違いは、光の具合でまったくかわってしまうし、目のうしろの白い点がビンズイの特徴だというけれども、よほど注意しないとわからない。

そこで私は単純明快に、田んぼや川原で見たらタヒバリ、山や林の中で見たらビンズイだということにしている。いいかげんなようだが、これでほとんどの場合正解なのです。

（写真と文・登坂久雄＝戸田市）

行事あんない



長野県・軽井沢探鳥会

期日：3月5日（日）

集合：午前6時30分 大宮駅中央改札口前

交通：高崎線大宮6：42発普通電車に乗車、
高崎で特急に乗り換え、中軽井沢下車、
途中駅からの乗車も可。

注意：防寒と足ごしらえはしっかりと。

（詳しくは2月号をご覧ください。）

神奈川県・城ヶ島探鳥会

期日：3月11日（土）

集合：午前10時 京浜急行三崎口駅改札口

（その後現地までバス利用）

交通：京浜急行品川8：44発特急→三崎口

解散：午後3時ごろ

担当：横山みどり、杉本秀樹、楠見邦博

見どころ：ウミウのお宿はどこでしょう。道

案内はイソヒヨドリ。はるか沖の鳥影
はカモメそれともミズナギドリ？

注意：砂浜・岩場を歩きます。しっかりした
靴でおこしてください。

熊谷市・大麻生定例探鳥会

期日：3月12日（日）

集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前

交通：秩父鉄道熊谷9：04発→大麻生9：12
着／ 秩父鉄道寄居9：01発→大麻生
9：19着

解散：午後1時ごろ

後援：埼玉県（第43回愛鳥週間「全国野鳥保

野鳥や自然の好きな方、どなたでも歓迎。
探鳥会に参加される場合、持ち物は、筆記
用具、雨具、昼食、ゴミ袋、もしあれば双眼
鏡など。参加費は、一般＝100円、会員及び
中学生以下＝50円。受付は探鳥会当日です。
特別な場合を除いて予約申込みの必要はあり
ません。小雨決行です。

夢中になりすぎて、鳥を驚かしたり、植物
を荒らしたりしないように。タバコの吸い殻
やゴミを散らかすなんて事はもってのほか。
いつもフィールドマナーをお忘れなく。

身支度ができたら、さあ出発！

「護のつどい」キャンペーン行事）

担当：諏訪隆久、鈴木忠雄、榎本秀和、岡安
征也

見どころ：春のさきがけ見つけよう（I）。

川原の野草が、そっと背伸びを始める
頃。コハクチョウの旅立も間近です。



（えのもと なつの）

荒川村・日野溪谷探鳥会

期日：3月12日（日）

集合：午前10時 秩父鉄道武州日野駅前

交通：秩父鉄道熊谷8：30発→武州日野9：
56着／ 西武池袋線秋津8：08→所沢
で8：19発快速急行に乗り換え→西武
秩父9：30着、秩父鉄道乗り換え、御
花畑9：41発→武州日野9：56着

解散：午後2時ごろ

担当：海老原美夫、福井恒人、林滋、杉本秀
樹、町田好一郎

見どころ：山里の春の気配の探険隊。まだま
だ寒い日もあるけど、季節は確実に巡
っています。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：3月19日（日）
集合：午前8時15分 北浦和駅東口 または
午前9時 浦和市立郷土博物館前
（北浦和駅の場合、その後バス利用）
解散：午後1時ごろ
後援：浦和市立郷土博物館
担当：楠見邦博、福井恒人、渡辺周司、乗田
実、手塚正義
見どころ：春のさきがけを見つけよう（Ⅱ）。
甘い春風に乗って、この春初めてのツ
バメの姿も…見えませんかねえ。

秩父市・羊山公園探鳥会

期日：3月21日（火・祝）
集合：午前9時40分 西武秩父線横瀬駅前
交通：西武池袋線秋津8：08発→所沢で8：
19発快速急行に乗り換え→横瀬9：26
着／ 秩父鉄道熊谷7：46発→御花畑
8：57着、西武鉄道乗り換え、西武秩
父9：35発→横瀬9：39着（御花畑駅
から横瀬駅まで、徒歩でも30分くらい
です。）
解散：午後1時ごろ
担当：福井恒人、海老原美夫、林滋、町田好
一郎
見どころ：ウソいます、ほんとです。ほんの
りピンクのウソ、黄色いアトリやマヒ
ワ達。色鮮やかな彼らに、会いに出か
けてみませんか？

坂戸市・高麗川探鳥会

期日：3月26日（日）
集合：午前9時 東武越生線川角駅前
交通：川越線大宮7：35発→川越7：54着、
東武東上線乗り換え8：00発急行→坂
戸8：14着、越生線乗り換え、8：35
発→川角8：44着
解散：午後2時ごろ
担当：森本國夫、藤原寛治、黒田佳子、宮内
武昭
見どころ：川べりも春のよそおい。暖かな陽
光に包まれて水辺は何か賑やかです。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：4月1日（土） 午後1時～3時ごろ
会場：支部事務局（浦和駅西口を出て左側、
三菱信託銀行と日建ハウスの間を入っ
て進み、信号ひとつ渡ってY字路の右、
茶色5階建マンションの1階＝徒歩約
5分＝住所は12ページ下欄のとおり）
案内：初めての人でも、すぐになじめる雰
囲気がいいですね。

野鳥写真クラブ定例会

とき：4月1日（土） 午後3時ごろ～5時
会場：『しらこぼと』袋づめの会と同じ
案内：野鳥、探鳥会風景、昆虫、植物etc…。
あなたの作品、待ってます。

浦和市・秋ヶ瀬探鳥会

期日：4月2日（日）
集合：午前9時 浦和駅西口バスロータリー
（その後現地までバス利用）
解散：午後1時ごろ
後援：埼玉県（第43回愛鳥週間「全国野鳥保
護のつどい」キャンペーン行事）
担当：福井恒人、海老原美夫、小荷田行男、
登坂久雄
見どころ：レンジャクのなる木、どうかな？
今年は各地でレンジャクが当たり年と
か。秋ヶ瀬にも姿を見せてくれるかな。

東京都・三宅島探鳥会（要予約）

期日：4月21日（金）夜～23日（日）
集合：21日20時 浜松町駅東京寄り改札口
帰路：東京港に23日19時20分到着の予定
費用：約16,000円の予定（宿泊費、往復船賃
含む。ただし島でのバス代は各自負担）
定員：20名程度（先着順、県支部会員に限る）
申込み：往復葉書に住所、氏名、電話番号、
年齢、性別を書いて北川慎一（〒367
本庄市銀座 ）まで。

4月9日（日） 熊谷市・大麻生探鳥会
4月16日（日） 浦和市・三室地区探鳥会
4月30日（日） 多摩川河口探鳥会

行事報告

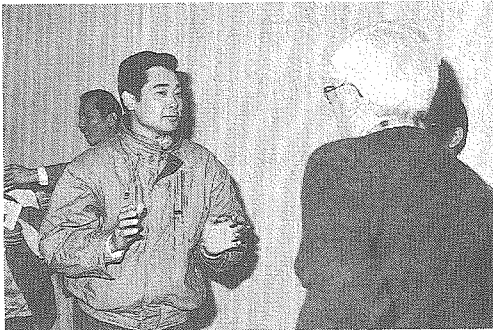
12月25日(日) 年末講演会&パーティー

人 第1部・47人 第2部・38人

支部活動の1年を振り返るスライド映写では、若き女性幹事(特に名を秘す)が両神の山小屋でビール片手にすっかり赤くなっちゃった写真までうつされて思わずケラケラ笑いながら「かわいそう」。

平野伸明さんの講演『町に生きるタカ・チョウゲンボウの未来』は、実はチョウゲンボウは乱婚だったという衝撃の事実も明かされて、すばらしい写真とともに、ホントに聞いてよかった。

2部のパーティーが終わった後は新事務所になだれ込んで懇親会。平野講師も含めて話がはずみ、にぎやかににぎやか。コンクリート壁が割れそうだったので、心配した事務局長は一生懸命壁を手で支えていましたとさ。



松井幹事と歓談する平野さん

1月3日(火) 浦和市 さぎ山記念公園

人 83人 天気 快晴 鳥 カワウ コサギ コガモ オナガガモ コジュケイ タゲリ タシギ シラコバト キジバト コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリ

ン カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(33種) 何とまあカンカン照りのあったかい日に、集まった人はワンサカ。今年初の探鳥会を楽しんだ後は、恒例の年の初めの探酒会も少々。これが「昭和」最後の探鳥会になってしまいました。

1月8日(日) 久喜市 昭和池

人 8人 天気 小雨 鳥 カイツブリ カワウ コサギ マガモ カルガモ コガモ トモエガモ オナガガモ ハシビロガモ ホシハジロ キンクロハジロ ハクセキレイ ヒヨドリ ツグミ ウグイス オオジュリン カワラヒワ スズメ ムクドリ ハシブトガラス(20種) 平成元年最初の探鳥会。参加者は少なく、ひっそりと探鳥を行った。水面の見通しは良くなかったが、トモエガモ10数羽を確認。雄顔面の特徴ある模様は見えたものの、色合いが今一つであったのは残念だった。

1月8日(日) 熊谷市 大麻生

人 9人 天気 曇時々雨 鳥 カイツブリ ダイサギ コサギ アオサギ コハクチョウ カルガモ コガモ コチドリ シロチドリ ハマシギ クサシギ イソシギ ユリカモメ キジバト カワセミ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス セッカ シジュウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス(37種) 雨模様の天気で参加者もまばら。自動車でも戸塚まで移動し、明戸河原を探鳥した。そこは見渡す限り河原が広がっている。黄紋のあざやかなカワラヒワ、水面近くを舞うユリカモメ、翼を休めるコハ

クチョウの群れ、100羽の群舞するハマシギ。しかし、ここは猟区。鳥たちには厳しい寒さより、時折聞こえる銃声の方が心配だろう。

1月14日(土) 長野県 軽井沢

人 25人 天気 晴 鳥 トビ ノスリ オオタカ キジ キジバト ヤマシギ カワセミ アオゲラ アカゲラ コゲラ キセキレイ セグロセキレイ カワガラス ミソサザイ ツグミ キクイタダキ エナガ コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ ホオジロ シラガホオジロ カシラダカ アトリ カワラヒワ マヒワ ハギマシコ ベニマシコ イカル シメ スズメ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) 雪が全くなく暖かな日だった。塩壺温泉より3km位奥でハギマシコの200羽位の乱舞を堪能。追分では、この日のハイライト、シラガホオジロ20数羽をじっくり観察できた。また、松に止るオオタカの雄成鳥を近くから見られた。いつもすばらしい軽井沢。

1月15日(日) 嵐山町 菅谷館跡

人 47人 天気 晴 鳥 ダイサギ コサギ コジュケイ キジ イカルチドリ クサシギ イソシギ タシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (34種) 三室地区を離れて初めての探鳥地と心配したが、東上線から参加者がぞろぞろ降りてきた。前日の下見ではエナガ、イカルがブンブン飛んでいたのに、エナガは一部の人を確認できただけ。イカルはついに姿を見せなかった。でもいいもん。カワセミが出てきて、カワラヒワはバラバラと飛び上がりイカルチドリはピーピー飛び回ってくれた。次回以降のこの探鳥会に期待して欲しい。

1月15日(日) 浦和市 三室地区

人 46人 天気 曇 鳥 カワウ コサギ

コガモ オナガガモ チョウゲンボウ イカルチドリ タゲリ クサシギ タカブシギ イソシギ タシギ キジバト カワセミ コゲラ ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビタキ アカハラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) 見沼田圃や斜面林の鳥たちに新年の挨拶。それに応じて、カワセミなどの三室のスーパースターたちが登場してくれた。

1月16日(振休) ガン・カモ類一斉調査

がんばった人 荒木恒夫、石井智、石岡友二、逸見嶮、岩波勇一、榎本秀和、海老原教子、海老原美夫、遠藤薫、大武昭雄、大武百合子、大平千夏、岡安征也、北川慎一、小荷田行男、小林恒雄、小林芳江、佐藤晶人、杉本秀樹、須永達人、諏訪隆久、高橋夕香子、手塚正義、登坂久雄、内藤義雄、中島康夫、野村明弘、橋本宣典、林滋、福井恒人、福井亘、藤野富代、町田好一郎、松井昭吾、松本由、三田長久、宮河友子、守田聖、森本國夫、横山みどり、吉川智康、吉原俊雄、渡辺敦 (43人)。

調査地点は10箇所。参加者の皆さんご苦勞様でした。概要は後日『しらこぼと』で。

1月29日(日) 寄居町 鉢形城跡と荒川

人 21人 天気 晴 鳥 カイツブリ コサギ トビ キジ イカルチドリ クサシギ イソシギ キジバト ヤマセミ カワセミ コゲラ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ ルリビタキ ジョウビタキ シロハラ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ オオジュリン アトリ カワラヒワ イカル シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス (37種) 河原に出るとすぐにヤマセミの登場。じっくり眺めているとイカルの美声。青空を背景に、こずえに止まったイカルの姿は美しかった。鉢形城跡では、昼食後にルリビタキ雄が現われた。あのルリ色が陽に輝いて。



ご寄付にお礼申し上げます

●1月号でのご寄付をお願いする呼びかけにたいし、続々うれしい反響をいただいております。2月号でも既に一部ご紹介しましたが、その後次の方々からのご寄付をいただきました。

岩波勇一=カラーテレビ、榎本秀和 1,000円、小淵健二10,000円、加藤義春 4,000円、草間和子=石油ポリタンクなど、黒田佳子 1,000円、後藤=ガステーブル・石油ストーブ、小林恒雄 10,000円、杉本秀樹 5,000円、多胡美代 4,000円、田村典子=冷蔵庫・電気ストーブ、中島幸二=双眼鏡、島山愿 300円、林滋=双眼鏡、藤野富代=扇風機、役員リーダー研修会 17,998円。

何人かは、初めて見られた鳥1種についていくらなどと、「個人的バードソン」を自分で決めて寄付に当てていると聞きました。

本当にありがとうございました。

おかげさまで、新事務所は少しずつかたちが整いつつあります。

新婚世帯の道具が揃っていくようだ、と評する人もいます。

●次の方々からは支部賛助会費（通常の会費との差額分8,000円）をいただきました。

草間和子、森本國夫。

(いずれも50音順、敬称略)

本物のバードソンも準備開始

全国の仲間が力を結集する本物のバードソンも準備が始まっています。

6月4日、「野鳥を科学する基金」設立のため、3,000万円目標に実施されます。

埼玉県支部も女性チームで参加の予定です。どうぞご支援ください。

役員リーダー研修会

1月21日(土)~22日(日)の2日間、年に1度の役員とリーダーの懇親を兼ねた泊まり込みの研修会が開かれて23人が参加、茨城県の波崎町・鹿島町・大洗町などをまわって、日頃あまりなじみのない海鳥の勉強をしました。

もう埼玉県にワシカモメやシロカモメが飛んできて大丈夫そうです。

会員数は

2月20日現在 968人です。

活動報告

1月5日 『県民だより』掲載記事について県広報課から連絡。1/10、2/3も。

1月6日 県自然保護課担当者が来局、保護のつどいについて打ち合わせ。

1月13日 埼玉銀行PR誌にバードウォッチング記事掲載について本部から連絡。

1月22日 役員会議(茨城県鹿島町にて、司会:楠見邦博、7月までの行事、その他)。

1月23日 2月号校正(大武、西城戸、森本)。

1月24日 県立浦和東高校からワシントン条約について問い合わせ。

2月3日 新発売予定の名札の見積り。



急に決まった探鳥会をお知らせします。

場所:神奈川県城ヶ島(関東近県支部合同)

期日:4月2日(日) 10時~14時

集合:午前10時 城ヶ島バス停(バスの終点)

交通:品川より京浜急行の三崎口行き(特急)

乗車(約70分)/三崎口駅から城ヶ島

行きバス9:20発または9:40発→終

点下車

見どころ:クロサギほか海の鳥

『しらこぼと』1989年3月号(第58号)

定価 100円(会費に含まれます)

発行人 今井昌彦

編集発行 日本野鳥の会埼玉県支部

☎ 048(832)4062

〒 336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号プリムローズ岸町107号 郵便振替東京9-121130

印刷 望月印刷株式会社

(本誌掲載記事の無断転載はかたくお断わりします)